

令和5年度  
飯南町総合振興計画等評価委員会  
答申書



令和5年8月21日 町産材を活用した誕生祝い品贈呈式

令和5年9月12日  
令和5年度 飯南町総合振興計画等評価委員会



## 1 はじめに

令和5年度の評価委員会では、令和2年度より開始した「第2次飯南町総合振興計画後期基本計画・第2期飯南町総合戦略」の3年目を評価いたしました。

令和4年度の施策実施状況について説明を受け、意見交換を行うとともに、これまでの成果について確認をいたしました。

答申書の作成にあたり、地域住民や各種団体から選ばれた幅広い委員の意見を取りまとめておりますので、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりのための政策・施策の検討資料、また「飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略」の施策推進の参考資料として皆様にご周知いただきますようお願いいたします。

## 2 評価委員会の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、「飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略」の進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進すると定められています。

同要綱に沿い、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と「飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略」の達成、進捗状況の評価を行いました。

## 3 評価の方法

「飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略」に掲げる施策の実施状況や進捗などを所管課から説明を受け、意見交換を通じて評価委員より助言・提案を行いました。

また、地域住民等への施策説明などを行う際の参考になるものと考え、委員から出た質問についても取りまとめています。

## 4 評価の状況

### 1) 評価委員による総評

令和4年度も引き続きコロナ禍の影響を受け、KPIが伸び悩んでいる施策がありました。そのような中でも、社会増減数や飯南高校生徒数などプラスになっており、施策の成果が出ている項目もあります。個別の項目では、生きづらさを抱える子どもへの支援や住宅施策などについて活発な議論がありましたので、今後の施策への反映の検討をお願いします。

2) 総合振興計画等目標指標の状況（抜粋）

目標指標	基準値（H30）	R4実績値	基準値比較	目標値（R6）
出生数	119人／5年 年23.8人 (H27-R1)	22人	↘	150人／5年 年30人 (R2-6)
社会増減数	±0人／年 (H27-R1)	+7人	↗	+5人／年 (R2-6)
婚姻数	14組／年 (H26-30)	6組	↘	20組／年 (R2-6)
飯南高校生徒数	174人	181人	↗	175人以上
入込観光客数	424,251人	374,140人	↘	450,000人
ふるさと納税件数 と納税額	4,896件 141,885千円	3,992件 139,814千円	↘	6,500件 200,000千円
Uターン 移住者数	9.5人／年 (H27-30)	10人／年	↗	13人／年 (R2-6)
Iターン 移住者数	38人／年 (H27-30)	35人／年	↘	40人／年 (R2-6)

### 3) 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※飯南町総合振興計画に沿って記載

#### 1 自治・協働

～住民が主役の協働のまちづくりを進める～

##### 基本施策1-1 住民主体のまちづくりの推進

###### 【意見・提案等】

###### 施策 2 住民の主体的なまちづくり及び地域づくり活動の支援

・ブランドメッセージ作成にあたっては、多くの住民を巻き込んで一体感を生み出せている。今後さらなる周知を図るためにも、住民・事業者に幅広く触れてもらう仕組みが必要(グッズ、露出)。

・ブランドメッセージの一連の取り組みは、新しい視点での取り組みで素晴らしかった。三日市のイベント等の継続も希望される方が多かった。イベント時の自治会への事前相談を丁寧にした方が良い。本について意外に知らない町民の方が多いので、ケーブルテレビなどで宣伝してはどうか。

###### 施策 4 地域コミュニティの活動支援

・当自治区では、集落实態調査後の計画づくりに町に関わってもらうことで、スムーズに進めることができた。他の地区も集落实態調査を基に、住民活動が広がるとよい。

##### 基本施策1-2 協働のまちづくりの推進

###### 【意見・提案等】

###### 施策 5 対話を中心とした情報共有と情報発信の徹底

・公式 LINE について、登録者数が多くてもブロックされては意味がないので、町のよい情報になるべくブロックされないやり方を考えてほしい。

###### 施策 7 まちづくり支援人材の配置・育成

・集落支援員に負担が集中しないように、地域づくり組織や公民館など、関係者の役割分担や連携・協働がより円滑に進むような伴走支援が必要。

##### 基本施策1-3 健全で効率的な行政運営の推進

###### 【意見・提案等】

###### 施策 12 土地・公共施設等の有効利用

・公共施設等総合管理計画について、個別の施設のおおまかな方向性を明らかにしておいた方がよいのではないかと。

###### 【質問等】

Q: chatGPT は使用しているか。

Ans: 県と同様に活用する方針。発展途上の技術であるため、生成された文章等は参考意見とし、対外的に用いる資料には利用しないという指針を作成した。

#### 基本施策1-4 職員の資質の向上

##### 【意見・提案等】

##### 施策 15 地区担当職員制の強化

地区担当職員制度が形骸化しないように、関わり方の例示や、制度に関わらず職員が地域と積極的に関わる支援(地域支援休暇等)の検討が必要。

##### 【質問等】

Q: 地区担当職員に役場が期待する役割と、地域と密接な関係を作るための職員への働きかけがあるか。

Ans: ゴミ拾いなどの活動への参加や、自治区文書の配布を行っている。地域からの要請があればイベント等に出ている。

#### 基本施策1-5 小さな拠点の形成

##### 【意見・提案等】

##### 施策 16 拠点機能の整備

地域づくりの単位とそれぞれに求める役割を明確にする必要がある。自治会・自治区・小さな拠点づくりと 3 層になっている地区については、支援者側の目合わせも重要。

## 2 教育・文化・子育て

～飯南から世界を舞台に活躍できる人材を育てる～

#### 基本施策2-1 子育てしやすい環境づくり

##### 【意見・提案等】

##### 施策 18 地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり

・生きづらさを持っている子どもの施策を、一つのテーマとして設ける必要があるのではないか。

・不登校や発達障害が増えており、親御さんの相談先や、子どもたちが自分にふさわしい教育を受ける場が必要。それに対応する施策はしっかりとやるべき。

・当事者やその家族も含めた住民に対して、不登校やひきこもりの理解促進を図っていく具体的な施策を加える必要があるのではないか。周りの理解者を増やしていくことで、当事者やその家族の苦しみが軽減され、今後の社会参加に繋がりやすくなると思う。

#### 施策 21 子育て世帯への経済的支援

・役場に取りに来ないといけなかったおむつ等を郵送する取り組みや、保育所の様々な対応など、子育て世代への支援が充実している。

#### 基本施策2-2 保小中高が連携した学校教育の充実

##### 【質問等】

Q:学力は県と比べてどうか。平均より低いものを底上げするための対策は。

Ans: 島根県平均と同じか少し低いくらいの位置。保育所や小学校低学年段階で出遅れがあると高学年に響いていく。最初に小学校の授業にスムーズに入っていけるよう、デコーディング指導を取り入れている。

#### 基本施策2-3 地域で育む教育環境づくり

##### 【意見・提案等】

#### 施策 29 学校・家庭・地域が連携した教育環境づくり

・中学校の部活動の地域移行がスタートした。学校を超えて合併したり離れたりを繰り返すより、子どもたちにとって良い方法を考える必要がある。スポーツ少年団もあるし、コミュニケーションを図ることも大事。人数が少ないのでできないこともあるかもしれないが、例えば高校にハンドボール部があり活躍もしているので、それを活かすことも可能性の一つだと思う。

##### 【質問等】

Q:コミュニティスクールの取り組みの周知はどうやっていくのか。

Ans: まずは教職員や教育関係者向けの講演会を開催した。今後は保護者に周知できるように研修会を開催し、浸透させていきたい。

#### 基本施策2-4 生涯学習の充実

##### 【意見・提案等】

#### 施策 34 生涯学習を総合的に推進する体制づくり

・現在も着実に実施されているが、公民館と小さな拠点づくりとの連携・協働をさらに高めるとともに、教職員の負担を地域が肩代わりし、地域と子どもたちの接点を増やすことが重要。

#### 基本施策2-5 平等に暮らせる社会づくり

##### 【意見・提案等】

#### 施策 40 人権・同和教育の推進と啓発

・同和問題、障がい者、LGBTQ などについてのさらなる理解拡大が必要(特に中高年齢層のLGBTQ等の理解が弱く感じる)。

### 3 産業

～誇れる産業を創出し、飯南町のブランド力を高める～

#### 基本施策3-1 飯南ブランドの構築

##### 【意見・提案等】

##### 施策 42 ブランド化の推進

・ホックに町長のポスターが貼ってあるのが評判が良い。町長の顔が見えると購買に繋がる。

##### 【質問等】

Q:ハウスの価格高騰や、パプリカへの価格転嫁も進まず、新規就農者がやっていけないのか。

Ans:市場では飯南パプリカの品質は文句のつけようがないという評価。ただ、飯南町と同様な環境の地域に視察に行った際に、飯南町より売り上げが高かった。個数を採って販売されており、なるべく多く採って収入に繋げる取り組みも必要。就農後も支援していく。

Q:米は、ブランディングをして高く買ってもらおうという方向性か。

Ans:買われる方に評価していただかないと値段も上がらないので、PR を行っていく。

Q:米を JA を通さずに販売している農家さんは、ある程度高い価格でとってもらっているのか。

Ans:お米屋さんと相対でやっておられるので金額までは把握していないが、お米屋さんが買わないといたらそれまでというリスクもある。

Q:パプリカの選果場は JA しかないのか。

Ans:基本はそうだが、自分で選果され独自ルートで販売いただくことも可能。

#### 基本施策3-2 農林業の振興

##### 【意見・提案等】

##### 施策 46 農林業従事者の育成・確保

・農業は人手が足りないため、1・2 時間などの短時間雇用も行っている。こういう雇用の情報を住民に働きかけてはどうか。

・LINE などで短時間雇用を募集する仕組みを作ってみてはどうか。

・農業だけでなく色々な業種で、短時間手伝ってほしいという情報を繋ぐ仕組みを作っている自治体があるので、飯南町らしい形ができるとよい。

・専業農家への支援は重要だが、多くの農地が兼業農家・自給的農家によって維持されている。農業生産だけではなく、多面的機能維持に向けては兼業農家・自給的農家への支援制度充実も必要。



#### 施策 47 担い手受け皿組織の設立

・地域商社の実績が当初想定と比較してかなり低調。コロナによる影響もあるが、今後どのように展開させていくのか事業の再考と再提示が必要。

#### 施策 49 農業生産施設の整備

・リースハウスを中古でできるのであればやったほうがよい。新規就農者もローンを組んでやっており、数年で軌道に乗るかもわからないので、よく話をしてあげてほしい。

#### 【質問等】

Q:集落営農の後継者対策に関する施策はあるか。

Ans:後継者を確保できないところで広域連携の取り組みを進めている。

### 基本施策3-3 観光の振興

#### 【意見・提案等】

#### 施策 55 交流推進母体の育成

・出身者会については若年層の加入が限定的であるため、域外住民と積極的に交流拡大を図れる新たな仕組みが必要。

#### 施策 56 自然体験の場・ガイド育成

・自転車の大きな大会を開催しているが、もう 1, 2 回あると定着していくのではないかと。県境なので、県外からも多く来られると思う。

### 基本施策3-4 商工業等の振興

#### 【質問等】

Q:特定地域づくり協同組合の給料が自分のところで雇うよりも高く、そのまま雇いにくいという話が出ている。

Ans:農業系の事業所・法人が多いためそういった意見になるのではないかと。正職として雇うには一定の仕事が必要のため、課題の一つとして研究したい。

## 4 保健・医療・介護・福祉

～地域のですべての住民の健康と長寿をめざす～

### 基本施策4-1 健康づくりの推進

#### 【意見・提案等】

#### 施策 61 健康的な生活習慣の向上

・高齢者の食料品アクセスと健康との関わりへの把握も重要(車の有無やサロンの参加有無と健康状態との関係性)。加えて他出家族がそれを把握することができる仕組みづくりが重要。

・特定保健指導の実施率が低いことに対する対策や改善策が必要(他で代替されているのであれば問題なし)。

#### 基本施策4-2 地域医療の維持・充実

意見・提案・質問等 なし

#### 基本施策4-3 地域福祉の充実

意見・提案・質問等 なし

#### 基本施策4-4 高齢者などにやさしい環境づくり

##### 【意見・提案等】

##### 施策 71 新たな高齢者サービスの創出

・高齢者移住はやめるべき。限られた財源であるので、これからを支える 30・40代に手厚くするのが適切である。

・双方向データ通信による安否確認はコストをかけてまで本当に必要なのか。代替できるものがあればそれでいいのではないか。双方向が目的になってはいけない。見守りができればいいので、ケーブルテレビを使わなくてもよいと思う。

## 5 生活環境

～快適な環境で安心して生活できる～

#### 基本施策5-1 定住の促進

##### 【意見・提案等】

##### 施策 75 住環境の整備

・住宅整備は、外国からの人材が居住することも想定して整備すべき。介護現場は人手不足で、今後外国からの移住者が見込まれるため、部屋数をしっかり検討して整備してほしい。

・空き家に対して、空き家バンク登録件数が少なく感じる。地域も含めた物件の掘り起こしと早い段階での利活用が進むようなさらなる働きかけが必要(残された時間は少ない)。

##### 施策 76 受け入れ態勢の充実

移住者受け入れ地域へのフォローなど、地域側の受け入れ態勢についても積極的なアプローチが必要(地域側の関心はあまり高くないため、分断を起こさないように)。

##### 施策 77 定住環境情報の発信

・空き家バンク VR は、IT 技術を利用して、住みたいと思わせるような取り組みに

なっておりよい。家具付きだとか山・農地付きといった、ここに来ようと思う人が知りたい情報をさらに増やしていくとよい。

#### 施策 79 関係人口の拡大

・高校卒業生 LINE は重要だが、それだけではなく出身者等と結びつきを強くすることができる仕組みが必要。

#### 【質問等】

Q: 空き家バンクに載せてもらうための働きかけや地域での発掘はどうしているのか。

Ans: 年 1 回、固定資産税の通知を送る際に、空き家バンクのチラシを同封している。

Q: 出身者に対して、何か働きかけをしているか。

Ans: これまでは出身者会の関わりがメインであったが、高齢化しており新しい人も入っていない状況。新たな取組としては、高校生の LINE 登録制度や、広報誌にブランドメッセージ本の絵はがきを入れ、色々な人に送ってもらい関係人口を増やす取り組みもしている。

Q: スムーズに空き家に入れるように、空き家を町が買い取り、町に対して支払いをするというやり方ができないか。

Ans: 町が所有するとリスクもあるので、スムーズに交渉できるよう支援を行う。

Q: 町営住宅を退去する際の修繕に、町内業者を活用できないか。

Ans: 気を配るようにしたい。

Q: 子どもがいる世帯が減っているのに社会増減数が増えているのはなぜか。

Ans: 割合としては、子どものいない世帯の転入が多いため、このような傾向になっている。(子がいる世帯 5、子がいない世帯 25)

Q: 働き手の確保のために住環境整備は必要であるものの、ある程度のニーズ調査をして着工しているのか。

Ans: 住宅の待機状況であったり、過去の申し込み状況を勘案して整備を計画している。

#### 基本施策 5-2 生活基盤の整備

#### 【意見・提案等】

#### 施策 80 公共交通の充実

・スクールバスに人数が多くて乗れないことがあるので、乗れるように工夫が必要。

・自動運転について、交通とプラスアルファの企画を取り入れると活用されるかもしれない。

・そもそも誰のための自動運転なのか。町民に利用してもらうために、町民は無料、観光客は有料などできないか。

・自動運転が目指すところがよくわからない。観光的要素もあるので、目指すところ

を明確にしてアピールすることが必要。

#### 施策 81 広域交通路線の確保及び利用促進

・今は車に乗れるが、免許を返したときにどうなるかになかなか意識が向かない。備北交通について、地域の人でも三次に出る足が大切といわれるが、なかなか利用者が増えない。将来使っていくであろう人たちに、どうそれを残していくかを伝えていくことが大切。

・赤名三次線の利用者数が低調。三次市内の商業施設のオープンが続いているので、買い物ツアー、観光ツアーなど備北交通と連携・協働した利用促進が必要(補助)。

#### 施策 83 情報通信網の整備・維持・活用

・CATV に契約した時に付属されているセキュリティソフトが、ロシア資本のものになっているが、ご時世的にどうか。

#### 施策 84 上下水道の整備

・松江市が公共下水道の整備を進めて人口集積が進んだ。今の時代に巨額投資が難しいのはわかるが、後からやっておけばよかったとなってしまう。

#### 施策 86 生活支援システムの充実

・コンビニの買い物支援の車が走っていてよいことだと思う。高齢になると本当に買い物に行くのが大変なので、買い物支援施策にもう少しお金をかけてもよいのではないか。

・中山間地域の買い物環境について、今の内から牽制球を投げておかないと、民間企業なのでいきなりやめることがある。物流の話になるので、ここはやめてもいいけどここだけ残してというのは無理。早めの対策が必要。

#### 【質問等】

Q: 免許を返納した人に対する交通の補助や、次の世代の人に働きかけていく手段を持っているか。

Ans: 免許を持たない方にタクシー助成をしている。交通安全協会と連携した返納者へのバス回数券配布等のサービスもある。バス運行継続に向けて、次世代の方のニーズも聞きながら進めていく。

Q: 新しいごみ処理施設は、どのような分別方法になるのか。

Ans: 最終的な処理方式は決まっていない。プラ循環の法律があるので、ある程度の分別は必要になる。

#### 基本施策5-3 消防・防災対策の充実

#### 【意見・提案等】

#### 施策 88 防災意識の向上と実践

・防災士を各地区に配置することはとても先進的で好事例。今後各防災士が地区とどう関わっていくのか、関わりしろを作っておくことも必要。

・災害が発生した時に、具体的にどのように行動するのかを具体的に示した「地区防災計画」の策定支援が必要。

【質問等】

Q: 自主防災組織の組織率はどうなっているか。

Ans: 自治会や自治区が自主防災組織を担っているため100%。

Q: 防災士はどこが認定するのか。

Ans: 県が主催で防災士養成研修を行っている。

Q: 地区防災計画の作成が推奨されているが、町として働きかけや支援はしているか。

Ans: 計画策定にあたっては、できるかぎり役場も参加して取り組んでいきたい。

Q: 災害時の情報収集について、電話以外の方法の検討状況は。

Ans: 新たにCATVに画像投稿サイトができ、そこに動画や静止画をアップしてもらえるようになった。周知を行っている。

Ans: 消防団組織の担い手育成と団員確保の手段は、どのようにされているか。

Q: 個別の勧誘活動を行うとともに、報酬や手当の増額等処遇改善を行い、団員確保に努めている。

基本施策5-4 防犯・交通安全の充実

意見・提案・質問等 なし

6 自然環境

～豊かな自然を守り生かす～

基本施策6-1 自然環境の保全

【質問等】

Q: 農薬などが川や田んぼに流れ込んでいることが心配。町として啓発はできないか。

Ans: 農業をされる方が多いため意識が低いのかもかもしれない。販売を手掛けるJA等に啓発をお願いしてみたい。

基本施策6-2 地球温暖化防止対策の推進

意見・提案・質問等 なし

## 5 評価委員会の開催日程と時間

開催日：令和5年8月1日（火）

場 所：飯南町役場 2階会議室

時間と説明する事業数

13：15～14：05	全体説明、まちづくり推進課
14：05～14：25	総務課
14：25～14：45	建設課
14：45～15：00	休 憩
15：00～15：30	住民課
15：30～16：00	産業振興課
16：00～16：20	教育委員会
16：20～16：50	保健福祉課・福祉事務所・飯南病院

## 6 添付資料

- ・【資料1】 評価委員会名簿
- ・【資料2】 第2次飯南町総合振興計画・第2期飯南町総合戦略重要業績評価指標（KPI）一覧
- ・【資料3】 令和4年度 地方創生推進交付金事業実績  
～森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト～
- ・【資料4】 令和4年度 地方創生推進交付金事業実績及び令和5年度事業  
～高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト～
- ・【資料5】 令和4年度 総合振興計画の施策実施状況報告書

## 7 令和5年度 飯南町総合振興計画等評価委員会

委員氏名	所 属 等	備 考
影山 和典	公募による住民	委員長
吾郷由美子	飯南町社会福祉協議会 地域福祉課 課長	副委員長
加津山幸登	飯南町商工会 事務局長	
三上 昭彦	飯南町 PTA 連合会 会長	
徳永 光子	(株)山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長	
小玉 泰宏	山陰中央新報社 出雲総局 次長	
東 良太	島根県中山間地域研究センター 地域研究科 主任研究員	
和泉元 亨	農業者	